



図7 授業風景①（整列時）

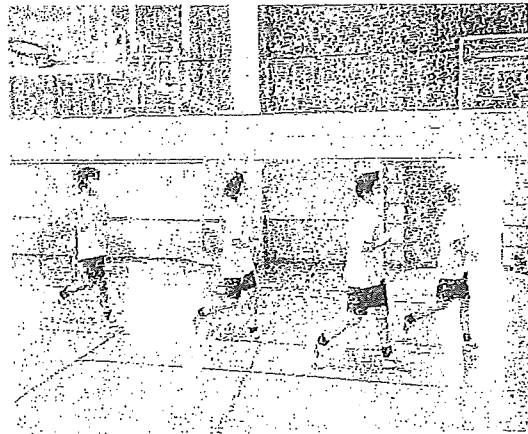


図8 授業風景②（ジョギング時）

(2) 「気分を上げる」実践

ア 研究のねらい

高校生世代に流行している音楽を流すことにより、モチベーションが上がるかどうか検証する。

イ 研究方法

体調がすぐれない生徒や走ることが嫌いな生徒、運動は好きだけど走ることは苦手な生徒など、いろいろなタイプの生徒がいる中で、今流行している音楽を聴くことによりモチベーションが上がると考える。運動は好きであるが長距離を走ることが苦手な生徒が多いため、気分を盛り上げれば楽しく体を動かせるようになることが期待できる。

音楽を流すに当たっては、あらかじめ高校生世代において流行している曲を調査しておく。また、持久走実施後に、音楽がかかっていたときのやる気と音楽を流しながら走った時のやる気をアンケートにて調査する。

ウ 実験結果

以下のアンケート結果のとおり、音楽があればモチベーションが向上する生徒は多かった。図11のように、音楽を聴くことで気分が乗った生徒が最も多く、音楽に集中できた生徒や嫌な気持ちが紛れた生徒もいた。しかし、図12のように、走ることが嫌いな気持ちが強く、音楽があってもやる気は変わらない生徒もいた。

音楽を流すことにより、速く走れるようになると予想していたが、結果としては速く走れてはいなかった。持久走という競技記録を目的としたものには音楽をかけて走ることは適していないことがわかった。

今回は、寒い時期から走りやすい環境に変えるのと同時に音楽を流したため、教員にとって望ましい結果が出た。しかし、同じ実施方法を継続していけば、今回と同じ結果になるとは限らないかもしれない。

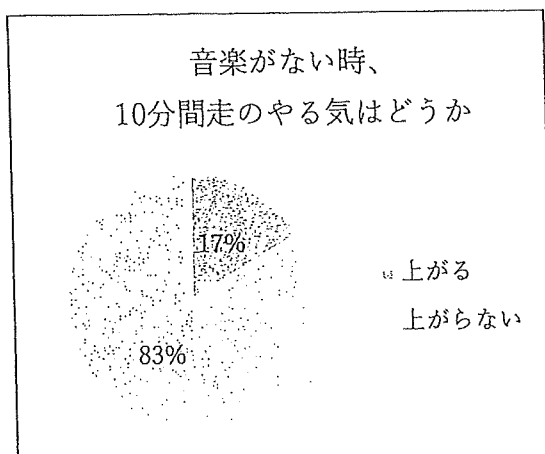


図9 持久走のやる気（音楽なし）

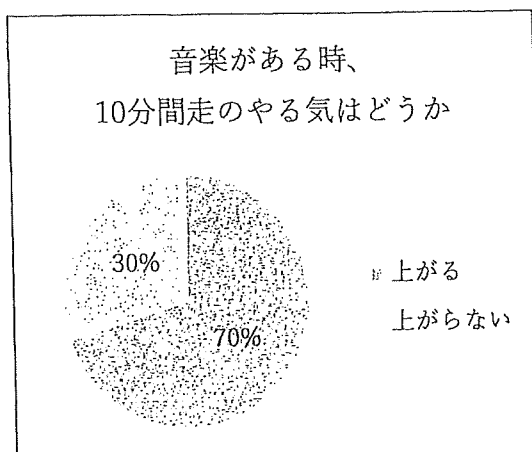


図10 持久走のやる気（音楽あり）

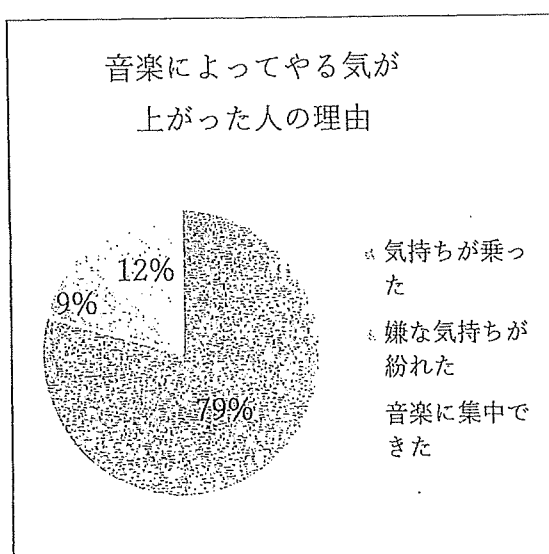


図11 やる気が上がった理由

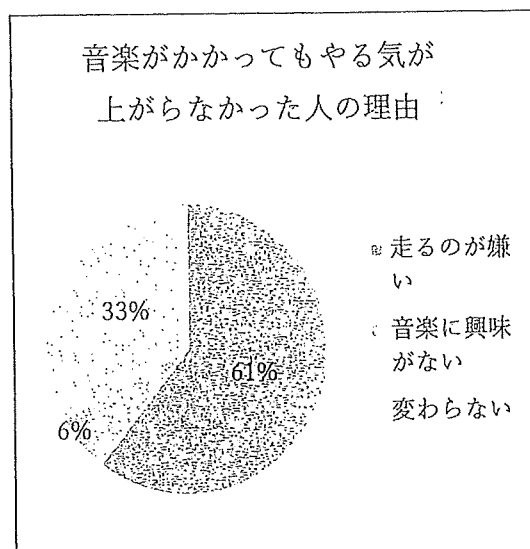


図12 やる気が上がらなかった理由

エ 考察

音楽の嗜好性には個人差があり、生徒によって好きなジャンルも違うであろう。好きではない音楽を聴くことによって、逆にモチベーションを低下させてしまう危険性も考えられる。しかし、音楽が流れることにより全体の雰囲気はよくなり、自然と授業への取組意欲が向上したと感じられる。

走り終わった後の、生徒たちの疲労感も違うように感じた。また、音楽を流しながら走った後の方が、生徒の表情もよく、自然と生徒同士の会話が生まれていた。走り終わった途端に足を止める生徒も少なく、歩きながら呼吸を整える生徒も増えた。健康・体調面においてもメリットは多く、過呼吸になってしまう生徒や体調を崩す生徒はいなかった。音楽が全てではないが、モチベーションの向上に大きく関係していると考えられる。

生徒のモチベーション向上だけでなく、教員にとっても寒さに耐えるだけ

でなく、音楽を聴きながら過ごしやすい環境で授業を展開できた。しかし、生徒も教員も集中力や注意力が欠けないように注意することが必要であると考ええる。

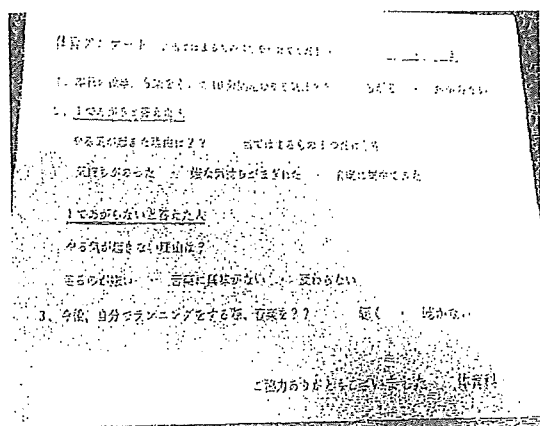


図 13 アンケート用紙



図 14 授業後アンケート

(3) 「楽しい時は時間（距離）を忘れる」実践

ア 研究のねらい

1,000m走や外周3周と聞くと、距離が長いというイメージを抱き、気分が下がってしまう。「走る」ことではなく「ジョギング」へと意識を変える。

設定された時間をジョギングすることによって、気楽に走れるようにするとともに体力向上を図る。

イ 研究方法

本校には全国で活躍する部活動が多いが、体力テストのシャトルランの平均値は、図15のとおり全国平均、県平均を下回っている。これは運動の得意な生徒とそうではない生徒の差が大きいが原因と考えられる。

体育館内で音楽を流し、運動が嫌いな生徒に対しては、速く「走る」のではなく、自分のペースで「ジョギング」することに意識を変えたい。それにより、各個人及び集団の体力向上につなげていきたいと考える。

実施人数	283
測定人数	278
棄権人数	5
最高値	90
最低値	20
本校平均値	51.07
標準偏差	16.42
Tスコア	48.7

2019年度全国平均	53.3
標準偏差	17.59
2019年度県平均	53.3
標準偏差	16.2
全国平均との差	-2.23
県平均との差	-2.23

図 15 シャトルランの平均値（1年生普通科女子）

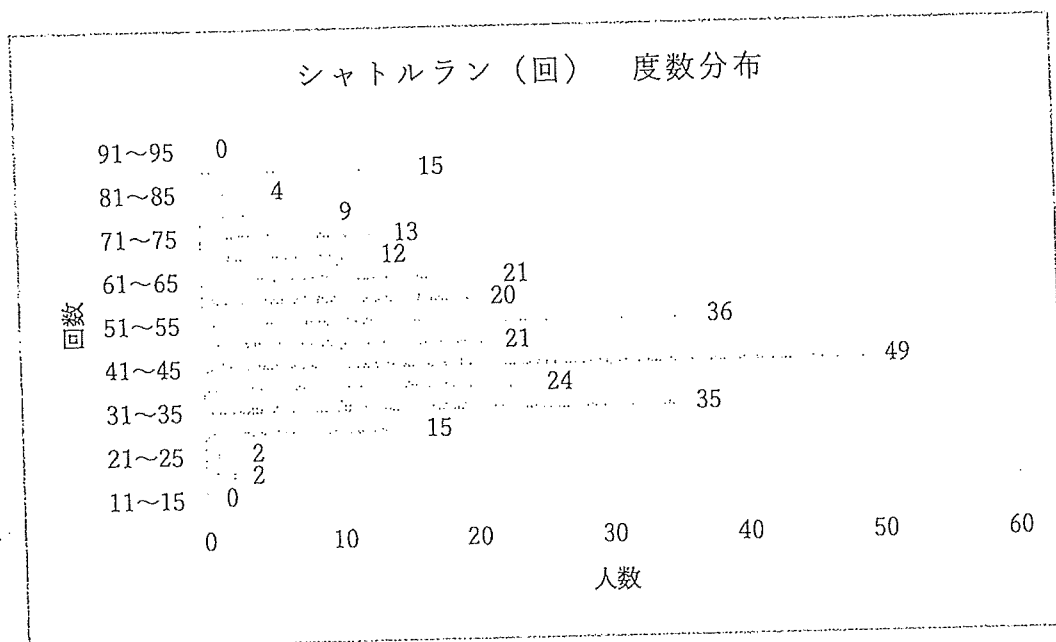


図 16 シャトルランの度数分布（1年生普通科女子）

ウ 実験結果

(1)、(2)の実験結果から、「走る」ことが嫌いな生徒を好きにさせることは難しいということがわかる。しかし、モチベーションを向上させることは可能であると考える。

「走る」ことが嫌いな生徒に対して、「ジョギング」と考え方を変えたことにより、走るペースが遅くはなったもののモチベーションは上がり、生徒の顔つきも変わっていた。教員にとっても全体指導がしやすくなった。

また、運動部に所属している生徒たちのペースも上がり、全体の雰囲気もよくなった。

エ 考察

「ジョギング」に変えた持久走は、運動が得意ではない生徒たちの意欲を向上させることができた。

しかし、モチベーションが向上すると同時に、体力も向上することを予想していたが、体力向上とまではいかなかった。体力を向上させるというより、健康維持のためには適していると感じた。

5 まとめ

仮説 1 は支持されたものとする。3学期の寒い時期であれば、これまでと同様に授業参加者は少なかったと思われる。しかし今回は見学者もいなかったし、全体の雰囲気が明るくなった。学校体育においては、生徒を参加させることが大切だとあらためて感じる事ができた。また、異常気象が続く中、生徒の健康を考えると、楽しく安全に体育ができる環境づくりに対して今後も努めていきたい。

仮説2は支持されたものとする。これについては、音楽を流すことでここまで雰囲気が変わり、走りやすい環境になることに驚いた。生徒たちのモチベーションが上がり、生徒同士の会話が増えていた。コロナ禍で上手にコミュニケーションが取れていなかった生徒たちであったが、好きなアーティストや曲が流れた時の盛り上がりはとてよい光景であった。そこから仲が深まった生徒もいたようである。よい連鎖が起きたと考えている。

仮説3は支持されたものとする。これについては、仮説1、2の取組の成果もあり、認識が変わったことによりモチベーションは向上した。しかし、仮説3だけではモチベーション向上にはつながらないと考えられ、仮説1、2が大切である。直接的な体力向上にはならなかったが、健康維持の役割を果たすことができたことを認識している。

持久走に対するモチベーションの向上には、様々な手立ての有効性を確認することができた。しかし、体力や記録の向上には結びつかなかった。記録向上などを追究していくのであれば、より集中できるような環境を整えることが望ましいのではないかと考える。

6 今後の課題

今回の研究のテーマは、持久走におけるモチベーションの向上であった。生徒のモチベーションをどのように向上させるのかについては大変難しかった。生徒とのコミュニケーションを一定程度確保できていたら、音楽だけでモチベーションが向上すると考えていた。しかし、今はSNSの時代であり、そこには有酸素運動に関する情報などが多く取り上げられている。これら有用な情報と比較した場合、モチベーションを向上するには音楽だけでは十分ではないことを痛感した。結果的には生徒の意欲は以前より上がってはいるものの、生徒の知的好奇心に訴求するなど、教員が今以上に工夫することが重要である。

日常生活において、歩いたり走ったりすること自体が少なくなっている。便利さからくる代償を、学校体育でどのように補っていけばいいのか、また、学校体育でどこまで身体活動を求めていけるのかが今後の課題であると感じた。

歩く、走るといった基本的な活動が少なくなることに加えて、本校では自転車で通学する生徒が減少傾向にあり、保護者の車による送迎が目立つなど、日常生活の中で自分の身体を鍛える機会を見逃している現状も否めない。本研究で得た、体力づくりを楽しく進んで行える環境づくりの重要性を深く認識し、引き続きモチベーションの向上に関する実践を重ねていきたい。

講演

目指すところを社会と共有する「心の健康に関する教育」の充実

－新学習指導要領が求める高等学校科目
保健の授業像－

講師 東京都立松沢病院

院長 水野 雅文 先生

水野 雅文 略歴

水野雅文（みずの まさふみ） 1961 年生まれ
東京都立松沢病院 院長

1986 年 3 月 慶應義塾大学医学部卒業

1992 年 3 月 慶應義塾大学大学院医学研究科修了 博士（医学）

1993 年～95 年 イタリア政府給費留学生としてパドヴァ大学心理学部へ留学

パドヴァ大学心理学部心理学科 visiting professor

帰国後、慶應義塾大学精神神経科助手、専任講師、助教授を経て

2006 年 4 月 東邦大学医学部精神神経医学講座主任教授

2021 年 4 月 現職

学会役職

一般社団法人 日本社会精神医学会 理事長

公益社団法人 日本精神神経学会 副理事長

日本森田療法学会 理事長

日本精神保健・予防学会 理事、前理事長

公益社団法人 日本老年精神医学会 評議員

一般社団法人 日本高次脳機能障害学会 評議員

Past-President, IEPA Early Intervention in Mental Health

Honorary Fellow, World Association for Social Psychiatry

Board Member, Asian Network for Early Psychosis

など

公職など

東京都精神保健福祉協議会 理事長

公益財団法人 日本精神衛生会 理事

ほか

著書

水野雅文著 心のケアの羅針盤 ラグーナ出版

水野雅文ほか編著 リカバリーのためのワークブック 中央法規出版

水野雅文著 心の病、初めが肝心 朝日新聞出版

水野雅文ほか訳 精神科臨床倫理第4版 星和書店

ほか

以上

愛知県学校体育研究連合会
高等学校部会のあゆみ

(資料編)

愛知県学校体育研究連合会高等学校部会のあゆみ

- (1) 愛知県高等学校保健体育研究大会（第 29 回以前は愛知県高等学校体育研究大会）
（第 1 回から第 5 回まで並びに第 9 回及び第 10 回は不詳）

第 6 回

- 期 日 昭和 56 年 2 月 10 日（火） 名古屋市港湾会館
- 研究発表
- ① 「特色ある体育指導を求めて」
愛知県立東郷高等学校
 - ② 「長期見学者の指導と評価についての一考察」
愛知県立豊田西高等学校
 - ③ 「本校における各種目別到達目標の検討（陸上競技・水泳）」
愛知県立内海高等学校
 - ④ 「体育実技の授業効果を高めるための工夫」
名古屋市立西陵商業高等学校
 - ⑤ 「地域性を生かした学校行事」
－体力の向上と規律ある集団づくりを目指して－
愛知県立犬山南高等学校
 - ⑥ 「教科保健に関する中・高の関連について」
－実態調査とその一傾向－
愛知県立小坂井高等学校
 - ⑦ 「県研究委託校 生徒選択の導入について」
愛知県立春日井西高等学校
 - ⑧ 「各領域における運動種目の安全を配慮した効果的な学習について」
特別研究委員会
- 講 演 「当面する高等学校の問題点」
講師 筑波大学教授 大木 昭一郎 氏

第 7 回

- 期 日 昭和 58 年 2 月 8 日（火） 名古屋市港湾会館
- 研究発表
- ① 「本校における体力づくりの一考察」
愛知県立一宮南高等学校
 - ② 「持久力を高めるための一考察」－ 5 分間走を実施して－
愛知県立半田農業高等学校
 - ③ 「西尾・安城地区県立高等学校における部活動の実態」
－生徒の参加意識について－
愛知県立西尾実業高等学校 愛知県立西尾高等学校
愛知県立安城農林高等学校 愛知県立安城高等学校
愛知県立一色高等学校 愛知県立安城東高等学校
愛知県立吉良高等学校 愛知県立西尾東高等学校
愛知県立安城養護学校
 - ④ 「高校体育における準備運動の実際」
名古屋市立名古屋商業高等学校
 - ⑤ 「バレーボールの個人技能とゲームについての一考察」
愛知県立春日井商業高等学校
- 講 演 「これからの高校体育に期待するもの」
講師 東京学芸大学教授 小野 三嗣 氏

第 8 回

- 期 日 昭和 60 年 2 月 8 日（火） 愛知県婦人文化会館
- 研究発表
- ① 「6 人制バレーボール競技におけるミスの考察」
名古屋市立若宮商業高等学校

- ② 「親の実態からみた生涯体育の一考察」
愛知県立岡崎高等学校
 - ③ 「水泳の効果的指導」
愛知県立起工業高等学校
 - ④ 「本校生徒の体力の学科別特徴について」
愛知県立愛知工業高等学校
 - ⑤ 「心身の鍛練を目的とした遠足の実践」
愛知県立新城高等学校
 - ⑥ 「補強運動による生徒体力の推移について」
愛知県立知多高等学校
 - ⑦ 「学習と部活動の実態調査」
愛知県学校体育研究連合会高等学校部会学習・部活動研究委員会
- 講演 「足からみた身体づくり」
講師 大妻女子大学教授 近藤 四郎 氏

第11回
期 日
研究発表

- 平成3年2月8日(火) 名古屋市港湾会館
- ① 「本校における体力の現状」
愛知県立一宮商業高等学校
 - ② 「効果的な選択種目の授業展開」
一球技種目の授業を通して—
愛知県立岡崎東高等学校
 - ③ 「商業高校における効果的な体育指導」
愛知県立愛知商業高等学校
 - ④ 「本校体育授業『縄跳び』の有効性と今後の課題」
愛知県立春日井東高等学校
 - ⑤ 「本校における集団行動の指導」
—生徒の実態に即した集団行動指導を目指して—
愛知県立豊橋商業高等学校
 - ⑥ 「本校における体育的行事の実践について」
—教育目標の具現化を目指して—
愛知県立半田東高等学校
- 講演 「中国の教育とその体育・スポーツの現状」
講師 毛 振明 氏

第12回
期 日
研究発表

- 平成5年1月27日(水) 愛知県婦人文化会館
- ① 「本校生徒の基礎体力について」
愛知県立松蔭高等学校
 - ② 「体育授業における教材づくりとその評価・活用」
愛知県立御津高等学校
 - ③ 「本校における体力づくりの効果的指導の在り方」
愛知県立武豊高等学校
 - ④ 「本校における3年生体育カリキュラムの特色」
名古屋市立緑高等学校
 - ⑤ 「持久走のタイム測定における適切なウォーミングアップ」
愛知県立刈谷高等学校
 - ⑥ 「本校における運動部顧問の意識調査」
愛知県立岩倉高等学校

講演 「教える者と教えられる者」
講師 パルセロナ五輪女子バレーボール総監督 小島 孝治 氏

第13回

期 日
研究発表

平成7年2月1日(水) 愛知県婦人文化会館

- ① 「本校における選択制授業の進め方・問題点」
愛知県立丹羽高等学校
- ② 「本校生徒の体育に対する学習意欲について」
名古屋大学教育学部附属高等学校
- ③ 「選択制授業の展開」
一より進んだ生徒選択による授業の展開及びそれに伴う新しい評価の
考え方一
愛知県立岡崎東高等学校
- ④ 「遠泳訓練の教育的意義」
愛知県立常滑北高等学校
- ⑤ 「生涯体育・スポーツの一考察」
愛知県立成章高等学校 愛知県立成章高等学校赤羽根分校
愛知県立渥美農業高等学校 愛知県立福江高等学校
- ⑥ 「選択履修にかかわる問題点の克服」
愛知県立春日井工業高等学校

講 演

(演題・講師不詳)

第14回

期 日
研究発表

平成9年2月4日(火) 愛知県歯科医師会館

- ① 「高校生の体力の向上、健康管理の動機づけについて」
愛知県立昭和高等学校
- ② 「基礎体力を高める効果的なエクササイズ」
愛知県立刈谷高等学校
- ③ 「達成感を味わえる体育的学校行事を目指して(『歩』の実践を通して)」
愛知県立新城高等学校
- ④ 「積極的に取り組める1年男女共習ダンスについて(実践報告)」
愛知県立知多東高等学校
- ⑤ 「本校定時制における体育授業の視点」
名古屋市立向陽高等学校
- ⑥ 「闊歩大会の歩み」
愛知県立尾西高等学校

講 演

「生涯につながる健康・体力づくり」

講師 名古屋大学総合保健体育科学センター体育科学部
教授 矢部 京之助 氏

第15回

期 日
研究発表

平成11年1月26日(火) 愛知県歯科医師会館

- ① 「本校における選択制の現状と課題」
愛知県立豊田高等学校
- ② 「選択制授業における柔道の指導法について」
一意欲的に取り組める授業の工夫とその評価一
愛知県立大府東高等学校
- ③ 「一宮養護学校(肢体不自由養護学校)における体育授業の取組について」
一体操・球技中心に一
愛知県立一宮養護学校
- ④ 「一トレッキング16一上高地へ」
愛知県立豊橋南高等学校
- ⑤ 「部活動の活性化を目指して」
愛知県立緑丘商業高等学校

- ⑥ 「達成感を味わえる集団行動の実践」
愛知県立春日井南高等学校
- 講演 「21世紀の教育への展望」ーこれからの学校体育の在り方ー
講師 文部省体育局体育官 本村 清人 氏
- 第16回
期 日 平成13年1月26日(金) 刈谷市産業振興センター
研究発表 ① 「本校における『体力づくり運動』の実践」
愛知県立安城農林高等学校
② 「蓼科山登山について」
愛知県立蒲郡高等学校
③ 「本校の水泳訓練について」
愛知県立阿久比高等学校
④ 「本校の体育時におけるトレーニングについて」
ー新入生に対する継続的指導の方法と実践ー
愛知県立瑞陵高等学校
⑤ 「野外学習活動について」
名古屋市立富田高等学校
⑥ 「なぎなたの授業について」
愛知県立海南高等学校
- 講演 「体育の授業研究の進め方」 (講師不詳)
- 第17回
期 日 平成14年1月25日(金) 刈谷市産業振興センター
研究発表 ① 「自ら学び、自ら考える力をはぐくむ武道指導を求めて」
愛知県立三好高等学校
② 「生徒一人一人が主体的に取り組む体育授業を目指して」
ー武道指導の充実と「体ほぐしの運動」の実践を通してー
愛知県立国府高等学校
- 講演 「体育の授業研究の進め方」
講師 筑波大学体育科学系助教授 (体育科教育学) 岡出 美則 氏
- 第18回
期 日 平成15年1月14日(火) 刈谷市産業振興センター
研究発表 ① 「肢体不自由児童・生徒の体力向上を図るための工夫」
愛知県立岡崎養護学校
② 「より効果的な選択制授業の実践に向けて」
ー新しい選択方式根の取り組みと評価法を考慮したテニス指導法につ
いてー
愛知県立明和高等学校
③ 「遠歩大会の取組について」
愛知県立佐織養護学校
- 講演 「高等学校におけるこれからの体育学習の在り方」
講師 国立教育政策研究所教育課程研究センター
教育課程調査官 今関 豊一 氏
- 第19回
期 日 平成16年1月23日(金) 刈谷市産業振興センター
研究発表 ① 「体力づくり運動の実践報告」
愛知県立高蔵寺高等学校
② 「個に応じた体育指導の在り方」ーボール運動を通してー
愛知県立豊橋養護学校

③ 「選択制授業における男女共習授業の充実」

ー男女共習授業における評価についてー

愛知県立半田高等学校

講演

「学校体育は生き残れるか」ー選択制授業と教師の指導性ー

講師 筑波大学体育科学系助教授 菊 幸一 氏

第20回

期 日

平成17年1月25日(火) 刈谷市産業振興センター

研究発表

① 「科目『体育』における体力づくり『ランニング』の取組について」

愛知県立名古屋南高等学校

② 「グラウンドホッケーの導入に向けて」

ーユニバーサルホッケーを取り入れたカリキュラム実践ー

愛知県立小牧南高等学校

③ 「生涯スポーツにつなぐ体育授業」

ーティームティーチングによる指導ー

国立大学法人愛知教育大学附属高等学校

講演

「新しい体育の学習指導と評価」ー選択制授業と教師の指導性ー

講師 鹿児島大学教育学部教授 武隈 晃 氏

第21回

期 日

平成18年1月24日(火) 刈谷市産業振興センター

研究発表

① 「体力づくり運動の取組」

名古屋市立山田高等学校

② 「基礎体力(持久力)の向上」

ー持久走(1500m走)の記録向上を目指したサーキットトレーニングー

愛知県立半田工業高等学校

③ 「体育の授業の在り方について」

ー一部活動のように生徒が自主的にー

愛知県立豊川工業高等学校

講演

「行動体力を支える防衛体力について」

講師 大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科教授 矢部 京之助 氏

第22回

期 日

平成19年1月23日(火) 刈谷市産業振興センター

研究発表

① 「学校設定科目『ライフスキル』について」

ーライフスキル(体育的分野)の実践とさらなる興味・関心を求めてー

愛知県立守山高等学校

② 「より充実した創作ダンスに向けての取組」

ー自発的・自主的な学習を目指してー

愛知県立美和高等学校

③ 「シラバスの作成とその効果的な活用」

ー指導・評価の計画と活用への働きかけー

愛知県立豊田北高等学校

講演

「『カラダ』に飢える子どもたち」ー社会の変動と「つながり」の喪失ー

講師 名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授 牧野 篤 氏

第23回

期 日

平成21年1月15日(火) 刈谷市産業振興センター

研究発表

① 「本校における体育時のトレーニングの工夫について」

愛知県立半田農業高等学校

② 「女子ラグビー(授業)の効果的指導法」

愛知県立瀬戸西高等学校

- ③ 「地域スポーツ『社会体育』への導入」ーボウリング実習を通してー
藤ノ花高等学校
- ④ 「肢体不自由児の体力的特性から見た体育・スポーツの指導について」
ー生涯にわたる豊かなスポーツライフを目指してー
愛知県立一宮養護学校
- 講演 「学習指導要領改訂の方向と今後の学校教育の在り方」
講師 東京女子体育大学教授 本村 清人 氏
- 第24回
期 日 平成21年1月20日(火) 刈谷市産業振興センター
研究発表 ① 「体育授業『アルティメット』は、体力向上に効果はあるか」
愛知県立中川商業高等学校
② 「本校の水泳授業の実践報告」
愛知県立小牧高等学校
③ 「個別の教育支援計画を生かした体育指導について」
ー一人一人が意欲的に取り組む体力づくりー
愛知県立安城養護学校
- 講演 「改訂学習指導要領における体育授業」
講師 日本体育大学大学院教授体育科学研究科
研究科長 高橋 健夫 氏
- 第25回
期 日 平成22年1月26日(火) 刈谷市産業振興センター
研究発表 ① 「授業におけるアルティメットについての一考察」
名古屋市立工業高等学校
② 「体育授業における視聴覚教材の活用」
愛知県立半田商業高等学校
③ 「本校体育授業での体力向上についての実践」
ー活動量の多い体育授業を目指してー
愛知県立新城東高等学校
- 講演 「新学習指導要領への移行について」
講師 愛知県教育委員会体育スポーツ課主査 丸山 洋生 氏
- 第26回
期 日 平成23年1月28日(金) 刈谷市産業振興センター
研究発表 ① 「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する選択制授業」
愛知県立旭丘高等学校
② 「意欲的に長距離走授業に取り組ませる実践報告」
愛知県立犬山高等学校
③ 「総合学科のスポーツ健康系列の歩みと取組について」
愛知県立岡崎東高等学校
- 講演 「新学習指導要領の取組について」
講師 愛知教育大学教授 森 勇示 氏
- 第27回
期 日 平成24年1月25日(水) 刈谷市産業振興センター
研究発表 ① 「本校生徒の実態に即したサッカー指導の工夫」
愛知県立瀬戸窯業高等学校
② 「意欲的に取り組む体育授業を通して」
ー運動会演技種目の実践を通してー
愛知県立半田養護学校

- ③ 「目指せ体力賞」
 —ミュージックサーキットトレーニングの導入についての一考察—
 愛知県立豊橋工業高等学校
 講 演 「高等学校保健体育への期待—学習指導要領改訂に込められた思い—」
 講師 鹿屋体育大学教授 佐藤 豊 氏

第 28 回

期 日 平成 25 年 1 月 25 日 (金) 刈谷市産業振興センター

- 研究発表 ① 「生涯スポーツにつながる体育授業の実践に向けて」
 —領域選択の方法と課題—
 愛知県立中村高等学校
 ② 「本校における体育授業の実践報告」
 —意欲的に取り組むソフトボール授業を目指して—
 愛知県立稲沢高等学校
 ③ 「生徒の実態に即した卓球授業のマニュアル化を目指して」
 —高大連携の活用—
 愛知県立高浜高等学校

講 演 「新学習指導要領による『柔道指導』について」
 講師 中京大学教授 竹内 外夫 氏

第 29 回

期 日 平成 26 年 1 月 24 日 (金) 刈谷市産業振興センター

- 研究発表 ① 「本校生徒の体力の現状とインターバルトレーニング走について」
 愛知県立横須賀高等学校
 ② 「『ボールを持たない動き』の改善を図った体育授業について」
 —試しのゲームからの課題抽出と意識付けにおける授業実践を例に—
 愛知県立御津高等学校
 ③ 「下位教材としてティーボールを取り入れた女子ソフトボール授業の取組」
 —「打てる」「捕れる」を目指した学習活動の工夫—
 名古屋市立工芸高等学校

講 演 「新学習指導要領とこれからの学校体育」
 —「体育理論」授業の充実に向けて—
 講師 筑波大学教授 岡出 美則 氏

第 30 回

期 日 平成 27 年 1 月 27 日 (火) 知立リリオ・コンサートホール

- 研究発表 ① 「つまづき動作に対する効果的な指導法」
 —動作改善を目指した学習方法の工夫—
 愛知県立千種高等学校
 ② 「体育実技におけるラグビーの選択」
 —タグラグビーの授業実践—
 愛知県立津島北高等学校
 ③ 「本校における体育授業の実践報告」
 —上達する卓球授業を目指して—
 愛知県立豊野高等学校
 ④ 「思考力・判断力の育成を目指した保健学習の工夫・改善に関する研究」
 —言語活動、ワークシート及び視聴覚教材の活用を通して—
 愛知県立鳴海高等学校

講 演 「高校生に育てたい『保健の市民的教養』」
 —いのち・人権・共生の視座から—
 講師 岐阜大学教授 近藤 真庸 氏

第 31 回

期 日
研究発表

平成 28 年 1 月 26 日 (火) 知立リリオ・コンサートホール
① 「ゴール型スポーツにおける学習のねらいへの導入としてのアルティメット」

愛知県立豊明高等学校

② 「集団行動が体育の授業及び学校生活に及ぼす効果について」
ー主体性のある生徒の育成を目指してー

愛知県立東海南高等学校

③ 「体育授業における効果的なトレーニングの実践」
ー「選択制補強運動」導入の試みー

愛知県立渥美農業高等学校

講 演

「今後求められる資質・能力の育成を目指す保健体育科の授業」

講師 国立教育政策研究所教育課程研究センター

基礎研究部部長 今関 豊一 氏

第 32 回

期 日
研究発表

平成 29 年 1 月 25 日 (水) 刈谷市産業振興センター

① 「『主体的な学び』『対話的な学び』『深い学び』の充実を目指した体育理論の授業改善に関する研究」

ー学びの質」に関する自己評価の比較を通してー

愛知県立鳴海高等学校

② 「視聴覚教材と ICT 機器の体育授業への導入について」

愛知県立木曽川高等学校

③ 「耐寒訓練・マラソン大会の実践」

ー生徒の体力向上を目指してー

愛知県立西尾東高等学校

講 演

「次期学習指導要領改訂に向けた現行保健体育の充実について」

講師 桐蔭横浜大学教授 佐藤 豊 氏

第 33 回

期 日
研究発表

平成 30 年 1 月 24 日 (水) 刈谷市産業振興センター

① 「夏季に実施する『剣道』の授業の工夫について」

ー熱中症対策としての視点からー

名古屋市立北高等学校

② 「本校生徒の体力向上について」ー補強運動の改善からー

愛知県立東海商業高等学校

③ 「効果的なウォーミングアップの検討」

ー体育授業時のウォーミングアップにおけるエアロビクスの実践についてー

愛知県立時習館高等学校

④ 「飲酒と健康について正しく理解し行動できる生徒の育成」

ー生徒保健委員会による企画展と保健授業を通してー

講 演

「次期学習指導要領改訂に向けた科目保健の方向性について」

講師 スポーツ庁政策課教科調査官 森 良一 氏

第 34 回

期 日
研究発表

平成 31 年 1 月 22 日 (火) 知立リリオ・コンサートホール

① 「体育授業における ICT 機器による視覚情報の活用について」

愛知県立長久手高等学校

② 「豊かなスポーツライフの継続について」

ー女子サッカーを観る視点から考えるー

愛知県立一宮高等学校

- ③ 「ICT 機器（タブレット端末）を活用した授業実践報告」
愛知県立みあい特別支援学校
- 講演 「新学習指導要領を踏まえた保健体育学習の在り方」
講師 スポーツ庁政策課教科調査官 高橋 修一 氏
- 第 35 回
- 期 日 令和 2 年 1 月 29 日（水） 知立リリオ・コンサートホール
- 研究発表 ① 「長距離走授業における本校生徒の体力の向上について」
愛知県立惟信高等学校
- ② 「主体的・対話的で深い学びを活性化させる学習指導の工夫」
ー検定型授業の実施を通してー
愛知県立大府高等学校
- ③ 「高校生と東京オリンピック・パラリンピック 2020」
ーICT 機器を活用した体育理論の授業による高校生の変化ー
愛知県立蒲郡東学校
- 講演 「新学習指導要領が求める高等学校科目保健の授業像」
講師 国立教育政策研究所教育課程研究センター
教育課程調査官 横嶋 剛 氏
- 第 36 回
- 期 日 令和 3 年 1 月 13 日（水） 名古屋市公会堂 4 階ホール
- 研究発表 ① 「保健の授業における主体的・対話的で深い学びを目指して」
名古屋市立菊里高等学校
- ② 「自分の健康に関心を持ち、主体的に健康管理ができる生徒の育成」
ーがん教育の実践を通してー
愛知県立尾北高等学校
- ③ 「特別支援学校における体育の指導について」
愛知県立いなざわ特別支援学校
- ④ 「昼間定時制におけるユニバーサルデザインに基づく体育の授業改善」
ー全ての生徒が主体的に参加する体育授業を目指してー
愛知県立刈谷東高等学校
- 講演 「新学習指導要領が目指す高等学校科目体育の授業像」
ー“社会に開かれた教育課程”に体育授業はどう応えるかー
講師 スポーツ庁政策課教科調査官 関 伸夫 氏
- 第 37 回
- 期 日 令和 4 年 1 月 14 日（金） 名古屋市公会堂 4 階ホール
- 研究発表 ① 「相互評価活動がもたらす体育授業改善」
ー指導と評価の一体化を目指してー
愛知県立愛知総合工科高等学校
- ② 「病弱特別支援学校における保健体育の授業について」
愛知県立大府特別支援学校
- ③ 「持久走におけるモチベーションと体力向上」
桜丘高等学校
- 講演 「目指すところを社会と共有する『心の健康に関する教育』の充実」
ー新学習指導要領が求める高等学校科目保健の授業像ー
講師 東京都立松沢病院院長 水野 雅文 氏

(2) 全国学校体育研究優良校・全国学校体育研究功労者

昭和 60 年度

全国学校体育研究優良校
全国学校体育研究功労者

名古屋市立北高等学校
伊藤 和夫 (愛知県立緑丘商業高等学校教頭)

昭和 61 年度

全国学校体育研究優良校
全国学校体育研究功労者

愛知県立三好高等学校
大和田 福子 (愛知県立宝陵高等学校教頭)

昭和 62 年度

全国学校体育研究優良校
全国学校体育研究功労者

愛知県立小坂井高等学校
竹内 隆 (愛知県立猿投農林高等学校教頭)

昭和 63 年度

全国学校体育研究優良校
全国学校体育研究功労者

愛知県立三好高等学校
岩田 正明 (愛知県立半田工業高等学校教頭)

平成元年度

全国学校体育研究優良校
全国学校体育研究功労者

愛知県立旭野高等学校
山本 八郎 (愛知県立瀬戸窯業高等学校校長)

平成 2 年度

全国学校体育研究優良校
全国学校体育研究功労者

愛知県立一宮北高等学校
稲垣 健一 (愛知県立千種聾学校校長)

平成 3 年度

全国学校体育研究優良校
全国学校体育研究功労者

愛知県立東海南高等学校
新屋 哲夫 (愛知県立一宮西高等学校校長)

平成 4 年度

全国学校体育研究優良校
全国学校体育研究功労者

愛知県立佐屋高等学校
松永 美成 (愛知県立瀬戸高等学校校長)

平成 5 年度

全国学校体育研究優良校
全国学校体育研究功労者

愛知県立小牧南高等学校
斉藤 一 (愛知県立明和高等学校教頭)

平成 6 年度

全国学校体育研究優良校
全国学校体育研究功労者

愛知県立御津高等学校
佐原 昭生 (愛知県立横須賀高等学校校長)

平成 7 年度

全国学校体育研究優良校
全国学校体育研究功労者

愛知県立岡崎東高等学校
丸山 益生 (愛知県立岡崎西高等学校校長)

平成 8 年度

全国学校体育研究優良校
全国学校体育研究功労者

愛知県立美和高等学校
田井 富士子 (愛知県立小牧南高等学校校長)

平成 9 年度

全国学校体育研究優良校
全国学校体育研究功労者

愛知県立福江高等学校
浅井 溢夫 (愛知県立西尾高等学校校長)

平成 10 年度

全国学校体育研究優良校
全国学校体育研究功労者

愛知県立木曾川高等学校
遠藤 隆之 (愛知県立三好高等学校校長)